

所属・資格 社会学科・准教授

申請者氏名 山北 輝裕

研究課題		ヨーロッパのハウジング・ファーストをめぐる社会学的研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	長期のホームレス状態の人々を支援するハウジング・ファースト（HF）はアメリカで誕生し、現在は世界各地を席卷している。HFの画期的なところは、シェルターなどの「中間施設」を経ずに、文字通り直接アパートに入居することを実現させた点である。従来のホームレス支援プログラムは「トリートメントアプローチ」と呼ばれ、いわゆる階段モデル（staircase model）を前提とし、施設からの退所者の多さが指摘されてきた。それに対してHFによるアプローチの驚くべき点は、路上からアパートに住居を移行した人々が、アパートを出ることなく、そのまま居住する「定着率」である。本研究は日本でのHFの完全な実現に向けて、世界のHFによる支援がどのように実施されているのかを明らかにすることを目的とする。
	研究の結果	前年度のアメリカのHFの「紹介」に関する研究成果を再編集し、書籍として刊行する作業が完了した。また平成30年度はヨーロッパ（イギリス・フランス・フィンランド・ベルギー等）のいずれか1国に短期滞在し、支援団体の実践を視察、コネクションを構築し、科研の研究に向けた準備期間にするとしていた。予定どおり、ベルギーのHF団体を視察した。また同時に日本国内においては、HF型の支援を受けた元野宿者がどのように地域生活をおくっているのかを明らかにするために、数名にインタビューを行なった。そのうち1名については論文化に向けて執筆中である（H31.5月末締め切り）。また、HFとネオリベラリズムの共振問題について考察するために海外論文を検討し、来年度に向けて論文化予定である（H31.3月末締め切り）。
	研究の考察・反省	ベルギーのHF団体視察ではトランジションの施設での相談活動や、チームミーティングなどへ参加することができた。団体からHFの実践に関するエスノグラフィーを提供していただいたため、文献の読み込みが必要であるとともに、ベルギー国内の住宅政策のレビューなどをふまえたうえで、日本への応用可能性について検討する必要がある。また国内のインタビューについては、休暇中などに集中的に実施したものの、さらに人数を増やすための時間をつくる必要がある。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物	「パスウェイズ・トゥ・ハウジングとハウジングファースト」稲葉剛・小川芳範・森川すいめい編『ハウジングファースト』、2018.4.20、山吹書店。